

TN-SCOPE news

徳島県立富岡西高等学校・SSH(スーパーサイエンスハイスクール)情報

第14号
令和7年8月



富岡西高校は夢へのスタートライン!

富西が目指す SSH は “人材育成” 国際感覚を持った人財を育てます。

「グローバル人財」に必要な**「探究する力」**「**創造する力**」**「共創する力」**を育てます。

科学思考力で挑む! 富西 STEAM 教育

～「探究」「創造」「共創」の力で地域と世界をつなぐ新たな学びのステージ～
SSH II期2年目となる取り組みを紹介します。

ミニ課題研究

➡➡ プログラミング



➡➡ 化学



➡➡ 数学



「SSH」では、課題研究の基礎力を育成するために「物理」「情報」「生物」「化学」「数学」の5分野の実験に取り組みました。各分野で探究の一過程を行い、課題研究を主体的に取り組めるよう導くための研究活動を行いました。

➡➡ 物理



➡➡ 生物



➡➡ フィールドワーク



課題研究

➡➡ SSH2



「SSH」を経て、2・3年次では、各グループで研究テーマを設定し、探究活動に取り組みました。

➡➡ SSH3



富西 STEAM 授業

(理数化学 × 現代の国語)

理数科1年次生を対象に行った「理数化学」×「現代の国語」の授業では、銅(II)イオンの反応を通じて、実験手順や結果を文章表現する際の的確な表現と表現の評価について深く学びました。



TN-サイエンスツアー

新たな理数科行事「TN-サイエンスツアー」を実施しました。Spring-8で最先端技術の見学とSSH生徒研究発表会では他校の研究や本校化学班の発表を通じて刺激を受け、探究心を深める貴重な経験となりました。



台湾研修

12月16日(月)から12月20日(金)まで、SSH台湾研修を実施しました。研修全体を通して得た経験を共有しました。この研修により自然環境や文化交流の重要性を改めて実感し、グローバルな視野を広げるとともに、他国との繋がり意義を深く考える貴重な機会となりました。





理数科 1 年次

西田 玖美 (阿南第一中学校)

理数科の大きな魅力は、3年間同じクラスで過ごすことでクラスメイトとの絆が深まることです。互いに切磋琢磨しながら学び合える環境が整っており、仲間との協力が学びの力になります。

また、本校は SSH に指定されており、課題研究に取り組んだり、大学の先生による講演会を通して最先端の研究に触れる機会があります。講演会では新たな視点や気づきを得ることができ、学びの意欲をさらに高めることができます。

理数科ならではの深い学びを通して、理科や数学の本質に触れることで、その面白さや奥深さを実感することができ、だからこそ、理科や数学がさらに好きになり、探究心も自然と育むことができます。ぜひ理数科でしか味わえない高校生活を送ってみませんか？



理数科 2 年次

田上 直史 (郡野川中学校)

みなさんは理数科と聞いて、どんなイメージを持っていますか？私は最初、授業が難しそうで堅苦しい雰囲気があると思っていた。でも、実際に入ってみると、理数科には分かりやすく丁寧に教えてくださる先生が多く、国語・数学・英語ではクラスを分けた少人数授業が行われていて、自分の力をしっかりと伸ばすことができます。

クラスメイト同士も、お互いに居心地の良い雰囲気を作ろうとする気持ちが強く、入学したばかりの頃の屋休みには、みんなで机をくっつけて自己紹介をしたのが印象的でした。そして、理数科の最大の特徴は、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）に認定されていることです。SSH の活動では、1年次のうちから県内外の研究所を訪れたり、講演会を聞いたりと、貴重な体験ができます。特に、大学の先生による講演では、最先端の研究方法を知ることができるだけでなく、異なる視点からの考え方を学ぶことができ、自分の価値観が大きく広がります。「3年間の高校生活を充実させたい」「学びを通して自分を成長させたい」と思っている中学生のみなさん、ぜひ理数科に来てください！



理数科 3 年次

日下 惺太 (勝浦中学校)

理数科の魅力はなんといっても課題研究です。1年次で得た基礎知識を踏まえ、2年次から研究テーマを絞り、仲間と協力して研究を進めていきます。その過程では、主体的に考える力、結果から情報を分析する力、自分の考えを発信する力など様々な力を身につけることができます。研究内容を発表する機会もあり、先生方から助言をいただいたり、他校の生徒の発表を聞いたりと、自分たちの研究の質をより良くすることができます。また、講演会や講義では多種多様な研究の話聞くことができ、課題研究の進展や進路決定にも繋がります。このように理数科での様々な活動を通じて、科学的な知見が日々深まっていることを実感しています。



自然科学部 部長

長池 武人 (小松島中学校)

自然科学部は現在 9 名の部員で活動しています。物理室には、私たちが自作した「重力可変装置」があり、それを使って火星の環境に関する研究を行っています。実験が思うようにいかないこともありますが、みんなで原因を考え、装置の改良を重ねた結果、良いデータが得られたときは大きな達成感があります。

私たちは、こうした研究成果を学会で発表する機会にも恵まれており、実験や発表の準備を通して、より深く科学を学ぶことができます。難しいと感じる場面もありますが、学年に関係なく、部員同士が協力し合い、意見を出し合いながら日々活動しています。

科学が好きな方、ものづくりに興味のある方、仲間と一緒に新しいことに挑戦したい方、私たちと一緒に自然科学の世界を楽しんでみませんか？

講演会

- 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 仁田工美氏
- 早稲田大学理工学術院総合研究所 田中香津生 主任研究員
- 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) 野澤則之 主任専門員
- 鳴門教育大学 寺島幸生 准教授
- 鳴門教育大学大学院 研修員 (海外の教育関係者)
- データ & ストーリー LLC 代表 柏木吉基 先生
- SDGs 公認ファシリテーター 渡邊芳彦 氏
- 大阪大学大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻 倉敷研究室 等

県内外問わず、各分野の第一線で活躍する方々による講話を実施しています。

SSH 校外行事

- JpGU (日本地球惑星科学連合) 高校生ポスターセッション
- 35th ISTS Tokushima 2025
- サイエンスカフェ 2025
- 香川県総合文化祭 2025 (全国大会)
- 全国 SSH 生徒研究発表会 TN-サイエンスツアー
- スペースバレーン トライアル (大阪・関西万博会場で成果発表) 等

その他各種発表会・コンテストに参加！！
入賞多数！！

